



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月27日

上場会社名 **ニチレキ株式会社**

上場取引所 東証一部

コード番号 5011

URL <http://www.nichireki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菱山 貴史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員
管理本部副本部長 (氏名) 高橋 保守 TEL (03)3265-1511

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	6,019	(27.3)	△607	(—)	△552	(—)	△50	(—)
19年3月期第1四半期	4,727	(13.5)	△992	(—)	△953	(—)	△458	(—)
19年3月期	38,619		1,045		1,148		355	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	△1	69	—	—
19年3月期第1四半期	△15	20	—	—
19年3月期	11	79	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	40,517		26,507		56.2	754	51
19年3月期第1四半期	38,006		25,727		59.1	744	67
19年3月期	45,059		26,963		51.1	764	19

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	2,740	△201	△305	7,332
19年3月期第1四半期	1,969	△218	△265	8,464
19年3月期	269	△1,704	△445	5,098

2. 配当状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	15,600	(23.1)	△800	(—)	△800	(—)	△400	(—)	△13	27
通期	42,300	(9.5)	1,250	(19.5)	1,300	(13.2)	500	(40.6)	16	59

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 平成20年3月期 第1四半期の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした堅調な設備投資、雇用環境の改善、個人消費の底堅い推移など、景気は全体として好調に推移いたしました。しかし一方では、米国経済の景気減速、原油をはじめとする資源の高騰や金利上昇懸念など先行きに不透明感も漂う状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境は、社会資本整備重点計画の最終年度であること、異常低温による道路災害復旧工事（凍上災）などの特需があるものの、公共事業予算の削減による事業量の減少、熾烈な企業間競争、原材料価格の高騰など、依然として厳しい状況で推移しております。

当社グループはこのような状況下、中期経営計画「V-3プラン」を実施しており、最終ステージとしての平成19年度は、「V字回復を果たす」ことを目標として事業を推進しております。

特に、技術開発において市場の要求に迅速かつ適切に対応できる「開発型企業」およびグループの強みが発揮できる「エリア一体化経営」の2つの視点から、企業体質および収益の強化に努めております。

その結果、当第1四半期業績につきましては、売上高は6,019百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

また、営業損失は、売上げの増加による原価低減などにより607百万円(同384百万円の改善)、経常損失は552百万円(同400百万円の改善)となり、四半期純損失は株式の売却益も寄与し50百万円(同407百万円の改善)となりました。

(2) 事業別の状況

「アスファルト応用加工製品事業」

アスファルト応用加工製品事業につきましては、凍上災に係わる特需、原材料価格の高騰に対する販売価格への転嫁などに努めた結果、売上高は2,769百万円(前年同期比20.0%増)となりました。

「道路舗装事業」

道路舗装事業につきましては、グループの一体化およびグループ工事会社の再編などによる効率経営を積極的に展開した結果、売上高は3,173百万円(同33.8%増)となりました。

「その他事業」

その他事業につきましては、賃貸マンションの収益が当第1四半期から寄与した結果、売上高は76百万円(同60.4%増)となりました。

なお、事業別の状況につきましては、4. その他 (3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更(セグメントの区分表示に関する変更)に記載のとおり、「セグメント区分の見直し」を行っており、セグメントに与える影響は、5. (要約)四半期連結財務諸表 (4)セグメント情報に記載のとおりであります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,452百万円減少し、40,517百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が8,085百万円減少し、現金及び預金が2,234百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、買掛金が3,488百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて4,086百万円減少し14,010百万円となりました。

純資産は、四半期純損失の計上と配当金の支払などにより、前連結会計年度末に比べて456百万円減少し26,507百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、56.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ2,234百万円増加し、7,332百万円となりました。

営業キャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失380百万円、売上債権の減少額8,459百万円、仕入債務の減少額4,053百万円などにより、2,740百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出294百万円、関連会社出資金の払込による支出98百万円、投資有価証券の売却による収入169百万円などにより、201百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額176百万円などにより、305百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年5月14日に公表しました中間および通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(固定資産の減価償却の方法の変更)

法人税法の改正(「所得税法等の一部を改正する法律(平成19年3月30日法律第6号)」および「法人税法施行令の一部を改正する政令(平成19年3月30日政令第83号)」)に伴い、平成19年4月1日以降に取得したものについては、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、これに伴う損益への影響は軽微であります。

(セグメントの区分表示に関する変更)

従来、アスファルト応用加工製品事業に含めて記載しておりました不動産賃貸業等を、当第1四半期よりその他事業として区分表示する方法に変更しました。

この変更は、当四半期より賃貸マンションの収益が継続的に見込まれることから、不動産賃貸業をアスファルト応用加工製品事業から区分することとしたことに伴い、各セグメントの経営成績をより適正に表示するため、セグメント区分の見直しを行ったものであります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
現金及び預金	8,448		7,317		△1,131		5,082	
受取手形及び売掛金	7,946		10,203		2,256		18,288	
有価証券	15		15		0		15	
たな卸資産	1,929		2,432		503		1,419	
その他	1,176		1,006		△170		877	
貸倒引当金	△59		△103		△44		△147	
流動資産合計	19,457	51.2	20,870	51.5	1,413	7.3	25,537	56.7
II 固定資産								
有形固定資産	11,386		12,003		616		12,125	
無形固定資産	420		354		△65		395	
投資その他の資産	6,741		7,288		547		7,001	
固定資産合計	18,549	48.8	19,646	48.5	1,097	5.9	19,522	43.3
資産合計	38,006	100.0	40,517	100.0	2,511	6.6	45,059	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
支払手形	—		501		501		581	
買掛金	2,739		3,632		892		7,120	
短期借入金	638		475		△140		483	
賞与引当金	787		1,057		270		764	
未払金	2,719		1,945		△774		2,495	
その他	853		1,500		647		1,698	
流動負債合計	7,738	20.4	9,112	22.5	1,373	17.7	13,144	29.2
II 固定負債								
長期借入金	53		—		△53		35	
繰延税金負債	1,060		981		△78		947	
退職給付引当金	3,123		3,297		173		3,307	
役員退職慰労引当金	92		16		△75		123	
負ののれん	—		328		328		345	
その他	210		273		63		191	
固定負債合計	4,540	11.9	4,898	12.1	357	7.9	4,951	11.0
負債合計	12,279	32.3	14,010	34.6	1,731	14.1	18,096	40.2
(純資産の部)								
I 株主資本								
資本金	2,919	7.7	2,919	7.2	—	—	2,919	6.5
資本剰余金	2,017	5.3	2,017	5.0	—	—	2,017	4.5
利益剰余金	15,821	41.6	16,408	40.5	587	3.7	16,635	36.9
自己株式	△709	△1.9	△717	△1.8	△8	1.2	△716	△1.6
株主資本合計	20,049	52.8	20,628	50.9	578	2.9	20,856	46.3
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価 差額金	2,207	5.8	2,141	5.3	△65	△3.1	2,096	4.6
繰延ヘッジ損益	201	0.5	—	—	△201	—	81	0.2
評価・換算差額等合計	2,408	6.3	2,141	5.3	△267	△11.1	2,178	4.8
III 少数株主持分	3,268	8.6	3,737	9.2	469	14.4	3,928	8.7
純資産合計	25,727	67.7	26,507	65.4	780	3.0	26,963	59.8
負債純資産合計	38,006	100.0	40,517	100.0	2,511	6.6	45,059	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	4,727	100.0	6,019	100.0	1,291	27.3	38,619	100.0
II 売上原価	4,221	89.3	5,054	84.0	832	19.7	31,283	81.0
売上総利益	505	10.7	964	16.0	459	90.9	7,335	19.0
III 販売費及び一般管理費	1,498	31.7	1,572	26.1	74	5.0	6,289	16.3
営業損失(△) 又は営業利益	△992	△21.0	△607	△10.1	384	38.8	1,045	2.7
IV 営業外収益	50	1.0	69	1.2	19	38.0	125	0.3
V 営業外費用	10	0.2	13	0.2	3	34.1	22	0.0
経常損失(△) 又は経常利益	△953	△20.2	△552	△9.1	400	42.0	1,148	3.0
VI 特別利益	45	1.0	218	3.6	173	379.0	269	0.7
VII 特別損失	48	1.0	46	0.8	△1	△3.4	404	1.1
税金等調整前四半期純損失(△)又は税金等調整前 当期純利益	△955	△20.2	△380	△6.3	575	60.2	1,013	2.6
税金費用	△213	4.5	△161	2.7	51	24.1	430	1.1
少数株主損失(△) 又は少数株主利益	△283	6.0	△167	2.8	116	40.9	227	0.6
四半期純損失(△) 又は当期純利益	△458	△9.7	△50	△0.8	407	88.9	355	0.9

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純損失(△) 又は税金等調整前当期純利益	△955	△380	1,013
減価償却費	282	318	1,282
負ののれん償却額	—	△17	—
貸倒引当金の増加・減少(△)額	△29	△42	102
その他引当金の増加・減少(△)額	211	298	233
退職給付引当金の増加・減少(△)額	△0	△9	0
受取利息及び受取配当金	△37	△36	△73
支払利息	2	1	9
固定資産売却益	△1	△6	△209
固定資産除却損	2	2	245
投資有価証券売却益	—	△147	—
投資有価証券売却損	2	—	2
売上債権の減少・増加(△)額	6,919	8,459	△2,768
その他流動資産の減少・増加(△)額	4	△6	44
たな卸資産の減少・増加(△)額	△527	△1,012	179
仕入債務の増加・減少(△)額	△3,559	△4,053	527
その他流動負債の増加・減少(△)額	53	13	154
役員賞与支払額	△35	△50	△35
未払消費税等の増加・減少(△)額	△152	△125	2
その他	44	5	△178
小計	2,224	3,211	534
利息及び配当金の受取額	37	36	73
利息の支払額	△2	△1	△9
法人税等の支払額	△290	△504	△329
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,969	2,740	269
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△219	△294	△2,083
有形固定資産の売却による収入	3	20	283
無形固定資産の取得による支出	△6	△3	△67
関連会社出資金の払込による支出	—	△98	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0	△200
投資有価証券の売却による収入	—	169	0
貸付による支出	△2	△8	△17
貸付金の回収による収入	6	14	29
その他	—	—	351
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218	△201	△1,704
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	—	300	990
短期借入金の返済による支出	△100	△300	△1,230
長期借入金の返済による支出	△10	△44	△43
社債の償還による支出	—	△50	—
自己株式の取得による支出	△0	△1	△7
子会社の親会社株式の売却による収入	5	—	5
配当金の支払額	△147	△176	△147
少数株主への配当金の支払額	△12	△32	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△265	△305	△445
IV 現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	1,485	2,234	△1,880
V 現金及び現金同等物の期首残高	6,979	5,098	6,979
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,464	7,332	5,098

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

①前年同四半期（平成19年3月期第1四半期）

(単位：百万円)

区分	アスファルト 応用加工 製品事業	道路舗装事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,354	2,372	4,727	—	4,727
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	566	—	566	(566)	—
計	2,921	2,372	5,293	(566)	4,727
営業費用	2,928	2,973	5,902	(182)	5,719
営業損失(△)	△7	△601	△608	(384)	△992

②当四半期（平成20年3月期第1四半期）

(単位：百万円)

区分	アスファルト 応用加工 製品事業	道路舗装事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	2,769	3,173	76	6,019	—	6,019
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	966	—	13	979	(979)	—
計	3,735	3,173	90	6,998	(979)	6,019
営業費用	3,462	3,630	47	7,139	(512)	6,626
営業利益又は営業損失(△)	273	△457	42	△140	(467)	△607

なお、平成19年3月期第1四半期を平成20年3月期第1四半期と同様の方法に区分した場合の各事業の種類別セグメント情報は、下表のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	アスファルト 応用加工 製品事業	道路舗装事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	2,306	2,372	47	4,727	—	4,727
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	544	—	11	566	(566)	—
計	2,861	2,372	59	5,293	(566)	4,727
営業費用	2,897	2,973	31	5,902	(182)	5,719
営業利益又は営業損失(△)	△35	△601	28	△608	(384)	△992

(参考) 前期（平成19年3月期）

(単位：百万円)

区分	アスファルト 応用加工 製品事業	道路舗装事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	15,942	22,676	38,619	—	38,619
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,598	—	4,598	(4,598)	—
計	20,541	22,676	43,217	(4,598)	38,619
営業費用	18,523	22,076	40,599	(3,026)	37,573
営業利益	2,018	599	2,617	(1,571)	1,045